

本住宅史上の寢殿造書院造系統混乱問題（昭和30年建築学会大会書院造シンポジウムに専門家間意見全く一致せず、その後の混乱も大なり）はその例と思う。

2. 生活芸術表現間の絶対弁証法概念付けを美とする美学は和辻倫理学と平行に考えられ、生活学を根拠付けると思う。内容 I. 生活芸術表現の根本構造 1) 出発点としての日常的現実、2) 表現に於ける個生活的契機、3) 表現に於ける理想芸術的契機、4) 生活芸術表現の否定的構造、5) 生活芸術表現の根本理法—美学の根本原理。

II. 美的表現の空時間関係と人間関係よりの構造 1) 個生活表現と理想芸術表現、2) 生活と芸術表現の空時間性、3) 生活と芸術表現の人間関係性、4) 表現に於ける空時間性と人間関係性との相即、5) 生活の実現、6) 生活主義美芸術主義美表現主義、7) 美表現の美醜、美的形式と美的感情。III. 芸術の分類 1) 芸術性の欠如態としての生活表現、2) 空時間芸術—美術音楽、3) 人間関係芸術—詩小説、4) 空時間人間関係相即芸術—劇生活芸術。IV. 芸術史上の風土性民族性と様式美（略）

3. 伊東博士は農家造—武家造—主殿造—書院造の説を立てられた。近來寢殿造—書院造の説が伊東説を否定するあり、寢殿書院別系統説があり混乱する。前の理論によるに書院造は住宅史上表現主義美学と見るべく、伊東説否定は基本理論の欠陥する謬説と言える。

13. 生活学を根拠付ける弁証法美学理論と寢殿造書院造系統問題の解決

広島大教育 加藤 泰

1. 住居学を生活学とする時、生活学の哲学的根拠付けの欠陥により、研究が本質的混乱する例少くなく、日